

石材施工用エポキシ樹脂系接着剤



ボンドEK270

ボンド EK270は、作業性に優れた石材施工用高性能エポキシ樹脂系パテ状接着剤です。硬化後は耐水性、耐久性に優れ、各種石材の接着に最適です。

EK270S : JAIA-003925 F☆☆☆☆
EK270W : JAIA-003926 F☆☆☆☆

■用途

各種石材の接着(天然、人造、人工石材)
その他タイル、陶板、パネル等の接着

■特長

混合性：使い易い等量混合型で、混合が容易です。混合状態が目視で確認出来ます。

作業性：揺変性に富み、コテ切れ・ヘラ切れが良く、作業性に優れます。厚付け(だんご貼り)も可能です。

耐久性：硬化後の接着性能および耐久性に優れます。

接着性：天然石材だけでなくタイル、モルタル、コンクリート、無機質ボード、合板等の各種材料に接着します。

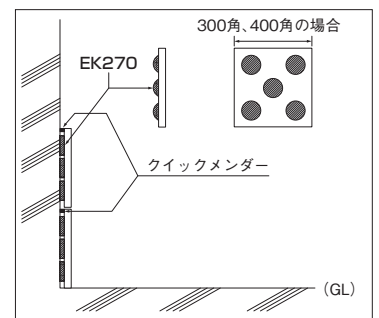
■性状

品名	EK270S (ホワイト)		EK270W (ホワイト)	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外観	淡橙色パテ状	淡青色パテ状	淡橙色パテ状	淡青色パテ状
混合比	主剤：硬化剤=1：1 (質量比)		主剤：硬化剤=1：1 (質量比)	
混合比重	1.90±0.10		1.90±0.10	
可使用時間	60±10分 (20℃、1kg)		55±10分 (20℃、1kg)	
貼り付け可能時間	60分以内 (20℃、1kg)		55分以内 (20℃、1kg)	
養生時間	24時間以上 (20℃)		12時間以上 (20℃)	

※数値は規格値ではありません。

■施工方法(例) (石材だんご貼り工法の場合)

- 下地処理**
 - ホコリ、レイタンス、汚れ、油脂等の付着物を取り除き、下地を清掃してください。下地面は平滑にし、できるだけ乾燥させてください。
- 墨出し**
 - 墨出しをして、最下段にズレ防止のため定木を打ちます。
- 接着剤の混合**
 - EK270の主剤と硬化剤を、1：1 (質量比)の混合比で計量し、平板上や丸缶等に取り出し、均一な色になるまで、充分に混合攪拌してください。混合が不十分な場合、石材汚染の原因となります。一度に混合する量は、可使用時間以内に使いきれの量にしてください。
- 石材の貼り付け**
 - 均一に混合したEK270を石材にだんご状に塗り、貼り付けてください。
- 石材の仮固定**
 - 面外への倒れ防止のため、均一に混合したクイックメンダー等で石材上部を仮固定してください。
- 目地詰め**
 - 1日以上養生し、石材が動かなくなったことを確認した後、目地材を充てんしてください。目地材は、必要に応じて弾性シーリング材を充てんしてください。縦方向および、横方向には状況に応じた伸縮目地を設けてください。



下より積上げ方式で貼り付けます。場合によっては金具・ビス等を併用する必要があります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

※器具類に付着した接着剤は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。※低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。

■技術データ

1. 接着性能

(A) 石材／モルタル(湿潤)の接着強さ(測定値例)

試験条件	品名		EK270S	EK270W
	被着材			
引張接着強さ (N/mm ²)	大理石	標準	2.1(G)	2.3(G)
		熱劣化	2.3(G)	2.3(G)
		アルカリ浸せき	1.2(G)	1.7(G)
	花崗岩	標準	2.3(G)	2.5(G)
		熱劣化	2.2(G)	2.4(G)
		アルカリ浸せき	2.0(G)	2.1(G)

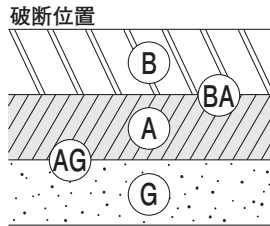
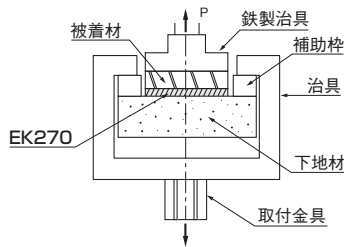
()内は破断位置を示す。

(B) その他の材料の接着強さ(測定値例)

試験条件	品名		EK270S	EK270W
	下地材			
引張接着強さ (N/mm ²)	大理石	石綿スレート板	1.1(G)	1.3(G)
		合板	1.1(G)	1.0(G)
	花崗岩	石綿スレート板	1.0(G)	1.3(G)
		合板	1.2(G)	1.0(G)
	陶器質タイル	モルタル(湿潤)	2.3(G)	2.4(G)
	磁器質タイル	モルタル(湿潤)	2.1(G)	2.3(G)

()内は破断位置を示す。

※接着強さ試験方法



B : 被着材
BA : 被着材と接着剤の界面
A : 接着剤
AG : 接着剤と下地材の界面
G : 下地材

※試験条件

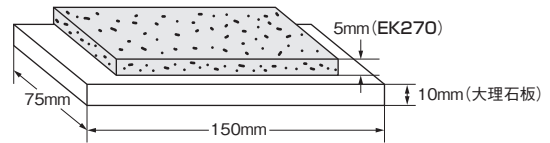
下地材：形状 70×70mm
被着材：形状 40×40mm
塗布：塗膜厚さ5mm (タイルは3×3mm、クシ目塗布)
試験条件：(標準) 20±1℃で7日間養生後試験。
(熱劣化) 20±1℃で7日間養生後、60℃で28日間暴露し、室温に戻し試験。
(アルカリ浸せき) 20±1℃で7日間養生後、飽和水酸化カルシウム溶液に2日間浸せきし、濡れたまま試験。

2. 石材汚染試験(測定値例)

暴露条件	結果
80℃・(98) %・2ヶ月	変色、汚染なし
60℃・2ヶ月	変色、汚染なし

※試験条件

石材：大理石(ピャンコカラーラ)
形状：150×75×10mm
暴露条件：充分混練したEK270を、大理石板に厚み5mmとなるように塗布する。20℃で7日間硬化養生後、上記条件に暴露する。所定時間の暴露後、大理石表面の汚染(濡れ色)の有無、および変色を目視で調べる。



■梱包容量

●EK270：20kgセット(主剤：10kg、硬化剤：10kg)

■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

注意事項：本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

●作業場所は十分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には大量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●温度が2~40℃の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2010年6月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

<http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0046 大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) TEL06(6228)2961
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(262)8173 仙台営業所 TEL022(211)5031 南関東営業所 TEL045(663)3184 広島営業所 TEL082(507)1911
福岡支店 TEL092(551)1764 北関東営業所 TEL027(324)3002 金沢営業所 TEL076(223)1565 高松営業所 TEL087(835)2020
札幌支店 TEL011(731)0351